

平成26年度 事務事業評価調書（平成25年度実績分）

事務事業名	麻しん風しん混合予防接種事業				
所管部局	子ども未来部	部局長名	山川 瑞代	予算事業名	麻しん風しん混合予防接種事業費
所管部署	母子保健課	所属長名	村上 和子	予算事業科目(平成26年度)	010401020232

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け	
施策の大綱	02 安心の環
政策	12 安全安心の生活環境づくり
施策	32 生涯にわたる心身の健康づくり支援

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	予防接種法第5条	法定受託事務	施策取組方針	市民一人ひとりが健康に関心を持ち、自ら健康管理ができるように、健康診査や各種検診、健康相談など、健康づくりを実践するための環境づくりを進めるとともに、健診受診率の向上に努めます。 また、心身の健康づくりの基礎となる食育と歯科保健を推進します。
県条例・規則・要綱等				
市条例・規則・要綱等				
その他(計画、覚書等)				

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	本市に住民登録している生後12月から24月に至るまでの間にある者(第1期)及び小学校就学前の1年間にある者(第2期)。		
意図	どのような状態にしていくのか	対象者に対し、適正に予防接種を行うことにより、伝染のおそれがある、麻しん、風しんの発生及び蔓延を防ぐ。		
手段	事業実施体制等	事業実施が可能な医療機関に委託する。	事業開始年度	平成18年度
			事業終了年度	—
活動内容	どのような事業活動を行うのか	委託医療機関において、対象に対し個別接種を実施する。 なお、平成25年度より、第3期及び第4期が廃止となる。		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	接種率(%)	対象者に対し、実際に接種した割合	
	B			
	C			

4 事業の実績等

			23年度	24年度	25年度	26年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	接種率(%)	目標	95	95	95	95	
			実績	85.5	87.3	94.2		
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)	111,314	113,368	69,941	58,899		
		財源内訳	国費(千円)					
			県費(千円)					
			市債(千円)					
			その他(千円)					
			一般財源(千円)	111,314	113,368	69,941		58,899
	翌年度への繰越額(千円)							
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	3,120	3,190	3,155	3,120		
		正規職員(千円)	2,520	2,590	2,555	2,520		
		その他(千円)	600	600	600	600		
		人役数(人)	0.65	0.65	0.65	0.65		
		正規職員(人)	0.35	0.35	0.35	0.35		
		その他(人)	0.30	0.30	0.30	0.30		
総コスト=①+②(千円)		114,434	116,558	73,096	62,019			
市民1人当たりコスト(円)	339	344	217		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数(人)	337,875	338,397	336,845					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

予防接種の種別の増加により、より多くの感染症に対し有効な反面、保護者や医療機関等の負担が増大している。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	法に基づく事業であるとともに、市民の健康保持に直結する事業であり、「生涯にわたる心身の健康づくり支援」という目的にも合致する。 健康に関する市民ニーズも高く、接種率も上昇している。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A		
		B (3) 横ばいである			
		C (1) 少ない、減少している			
		D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	4.0	接種率は上昇傾向にあり、目標値に近づきつつある。 未接種者に対し接種勧奨の通知を個別に行うなど、接種率の向上に努めている。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	5.0	医療機関に委託することにより、個別接種として実施している。 その他の種別の予防接種に関しても同様に委託している。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	A		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	対象者は国により定められている。 個人負担は求めているが、地方交付税により9割が措置されている。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点	19.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 改善を検討し、事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	予納接種法により規定されている事業であり、市民の健康保持という目的も明確であることから、今後も引き続き事業を継続していくとともに、接種率の向上も目指していく。
B 改善を検討し、事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項